2026
月刊

すざかしどうぶつえん

11月号　No.307

11月の休園日：2日（月）、9日（月）、16日（月）、24日（火）、30日（月）

☆ 今月のイベント ☆



【秋の動物園まつり】
10月31日(土) 11月1日(日)

【カピバラ温泉】
11月1日(日)～2月28日(日)

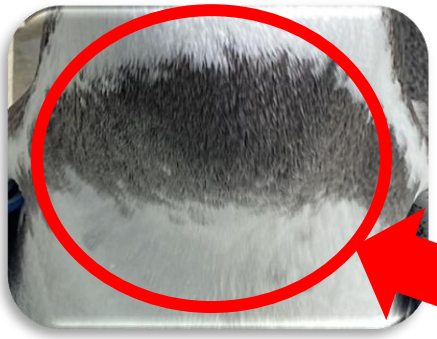
【いい夫婦の日】
11月21日(土) 11月22日(日) 11月23日(月･振)
♡夫婦で来園するとおふたりの入園料が無料になります

イベントの詳しい内容はホームページをみてね！



どうぶつ虫めがね

ペンギンの体はフシギだらけ！



ペンギンの身体は
ツルツルの肌じゃなくて、
短い羽がウロコのように
生えている！



口の中には、魚を逃がさない
ための突起がびっしり！

鋭い脚の爪で滑りやすい
岩場も登れる！



【ニホンザルの「モン」】



当園で飼育しているニホンザルがモンです。
2015年生まれの11歳で、飼育下の平均寿命は25～30年程度で、モンはまだまだ若いオスです。
モンは1頭で暮らしていますが、それには理由があります。
モンは幼いころに群れと離れて1頭になってしまいました。
ニホンザルはとても賢く、群れで社会性を学びます。
モンはこれを学べませんでした。
群れでは序列を重んじるため様々なルールがあり、守れないと激しく攻撃されてしまいます。それゆえ何も知らない個体が群れに入るのは困難でしょう。
実は野生のニホンザルのオスは成長すると、必ず生まれた群れから出て新しい群れに入らなければなりません。そしてサルの上下関係は単なる腕力だけでなく、コミュニケーション力や政治力が大きく関わります。
その結果、群れに馴染めずそのまま1頭で生きていく「ハナレザル」も存在するのです。
今のモンは、このハナレザルのような状態です。
モンは人をよく観察しています。飼育担当が変わる際は、見慣れた担当と一緒に行動している様子を見せないと、新しい担当には受け入れてもらえません。他の人に対しては直感で好き嫌いがあるのか、関わったことがなくても敵視されてしまうこともあります。
もしモンが興奮してしまったら、落ち着いてなるべく反応しないようにお願いします。

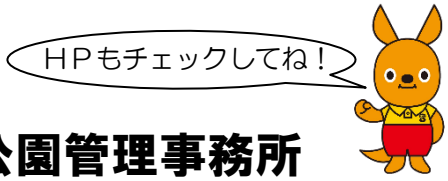
ニホンザル担当　谷川

【新しくミニブタが仲間に加わりました！】

7月にミニブタが1頭仲間入りしました。ブタというと、とても身近な家畜ですが、なかなか見る機会は少ないのではないでしょうか。
そんなミニブタの注目ポイントをご紹介します。まず一つ目は体の大きさです。ミニブタを見た方が「大きい！ミニじゃない！」と仰るのを耳にします。現在、当園のミニブタ「コットン」は約37㎏です。皆さんの食卓にもあがる養豚のブタは体重が100～300㎏ほどあり、体重100㎏以下に品種改良されているのがミニブタになります。そう聞くと、コットンも立派な「ミニ」ブタですよね。
次に、体毛です。豚にはあまり毛が生えているイメージがないかもしれませんが、よく見ると固い毛がたくさん生えています。毛は季節で生え変わるので、これからの寒い時期のほうが、より長い毛が生えていて、夏とは少し印象が変わります。
最後に鳴き声です。ブタは「ブーブー」と鳴くというのは皆さんご存じかと思いますが、当園のコットンもよく鳴いています。餌が欲しい時、人間に近づいてほしくない時、さまざまな場面で鳴き声を聞くことができますよ。とても驚いた時などは「ワン！」と鳴くこともあります。魅力がたくさんのミニブタにぜひ注目してくださいね。



ミニブタ担当　矢嶋



SUZAKA ZOO
須坂市動物園／臥竜公園管理事務所
TEL:026-245-1770　FAX:026-248-1793